

恭啓仕候、陳者其後ハ
兎角御無音のみ申上、
何とも恐縮之至ニ奉存候、
扨又今回御来簡によれば、
武雄殿御婚儀ニ付、
堀江氏方と御婚姻
御取結之模様ニ付、
御丁寧ニ小生迄へも
御申聞被下候事恐入候、
孰れにいたせ田舎ハ
田舎同志之方将来
家庭の折合ひもよろしかるべく
何事も御目鏡に異存
無之事ニ奉存候、武雄
先生ニさへ異存
無之上ハ、決して小生方ニハ
異存無之のみならず、
誠に目出度ぎに
御祝ひ可申上候、何かは

申迄も無之候得共、
同人の意見篤と
御聞糺之上、御取極
願度よろしく奉願候、
兎に角萬事都合
よろしく進行仕候様
乍蔭祈望之至ニ奉存候、
母上様も兎角御勝
れ無之由心痛限り
なき事に奉存候、小生も
来月ハ必ず参上
可仕候得共、何分御承知
の通り本年も春以来
商買上の波渾も
甚敷、孰方へも外出の
機会無之御察し奉願候、
来月ニハ必小閑参上
久闊御詫ひ可申上候、
恐々頓首、

三月七日 原富太郎

尊大人様

此頃中、小生一寸風気

にて引籠り仕候為め、

御返事延引不悪御承知

奉願候、乍末

母上様へも宜敷奉願上候、

兎角時候悪敷候為め

病人多く候、何卒

御精養専一二奉願上候、